

令和5年度 新冠町の予算

令和5年度の一般会計予算総額は52億2400万円となっており、前年度当初予算に対し、1億2200万円減額しています。

歳入予算では、自主財源であります町税については、固定資産税、入湯税については増収を見込んでいますが、他税目においては減収を見込んでおり、町税全体では前年度対比0.7%の減となっています。

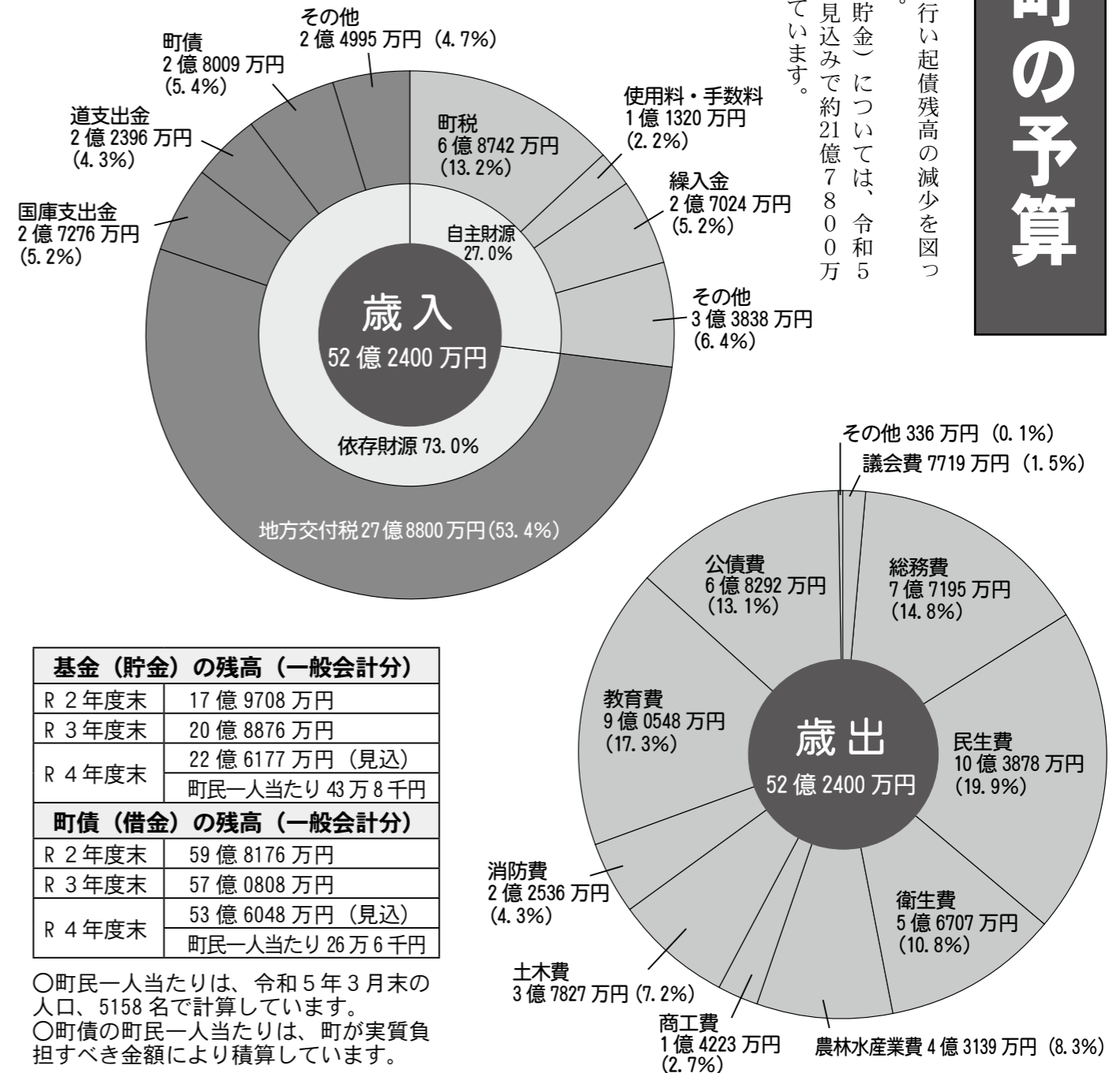
また、歳入予算で最も大きな割合を占める地方交付税のうち普通交付税については、令和5年度地方財政計画や近年の交付実績を考慮し、前年度当初予算対比0.4%増と見込んでいます。

歳出予算では、令和4年度当初予算と対比し2.3%の減となっており、財政収支や将来負担の見通しを見据え、投資的経費につきましては、緊急度や優先度の高い事業について予算計上しています。

町債（借金）の残高は、令和4年度末の見込みで約53億6000万円、令和5年度の見込みでは約51億1100万円となっています。当初予算においては、減債基金から

の繰入を行い起債残高の減少を図っています。基金（貯金）については、令和5年度末の見込みで約21億7800万円となっています。

一般会計項目別内訳



○町民一人当たりは、令和5年3月末の人口、5158名で計算しています。
○町債の町民一人当たりは、町が実質負担すべき金額により積算しています。

会計名	今年度予算額	前年度予算額	前年度比増減率
一般会計	52億2400万円	53億4600万円	△2.3%
簡易水道事業特別会計	2億5312万円	2億5995万円	△2.6%
下水道事業特別会計	2億0132万円	2億1110万円	△4.6%
国民健康保険特別会計	8億5036万円	8億7176万円	△2.5%
後期高齢者医療特別会計	8869万円	8730万円	1.6%
介護サービス特別会計	3億0396万円	3億0783万円	△1.3%
国民健康保険診療所特別会計	4億8521万円	4億4951万円	7.9%
特別会計合計	21億8266万円	21億8745万円	△0.2%
総額（一般会計+特別会計）	74億0666万円	75億3345万円	△1.7%

令和5年度の主な事業

◆議会配信システム設置等事業

開かれた議会を目指し、町民が時間を気にせず議会を傍聴できるよう、Web配信を行うために必要な機器を導入します。

◆ふるさと納税特典付加事業

寄附件数の増加と寄附金の増収および地場産品消費による地域経済の発展を図ることを目的に事業を実施します。

【事業概要】

- 新規返礼品等の開発
- 広報・PR業務・ポータルサイトの更新
- 返礼品開発を目的とした事業者への専門家派遣支援

◆リモートワーク・ワーケーション事業

サテライトオフィスの施設整備による企業誘致の可能性がある中で、ニーズの把握や意見聴取を目的に、新冠温泉の2部屋を約1カ月間借り上げ、ワーケーションの実証試験事業を実施します。

【ワーケーションとは】

仕事（ワーク）と休暇（バケーション）を組み合わせた造語です。テレワークなどによって、観光地など普段の職場ではない場所で仕事をすることができます。



◆合葬墓整備事業

近年の核家族化やお墓の継承といった問題の解決として合葬墓の整備を行い、また、無縁納骨堂内の遺骨を土に還すことを目的に粉骨し改葬を行います。

◆道営農村整備事業（東泊津地区）

舗装面にひび割れや路肩の沈下などが激しい町道を原状回復することで、農作業大型機械などの運行を容易にし、生産性の向上を図ることを目的に実施します。

◆新冠温泉施設改修事業

地域住民に対し、健全にして快適な休養の場を提供し、心身の健康増進と地域間交流の促進により地域の活性化を図るため、温泉施設の一部を改修します。

◆東町避難階段整備事業

東町地区にある2つの避難階段のうち、平成8年度に設置した避難階段の補修を行います。

◆新冠小学校駐車場整備事業

小学校統合後のバス車両と保護者送迎車両の増加を見込み、新冠小学校の車両出入口を増設し、バス車両と保護者送迎車両の出入口の差別化を図り、児童生徒の登下校の安全を確保します。